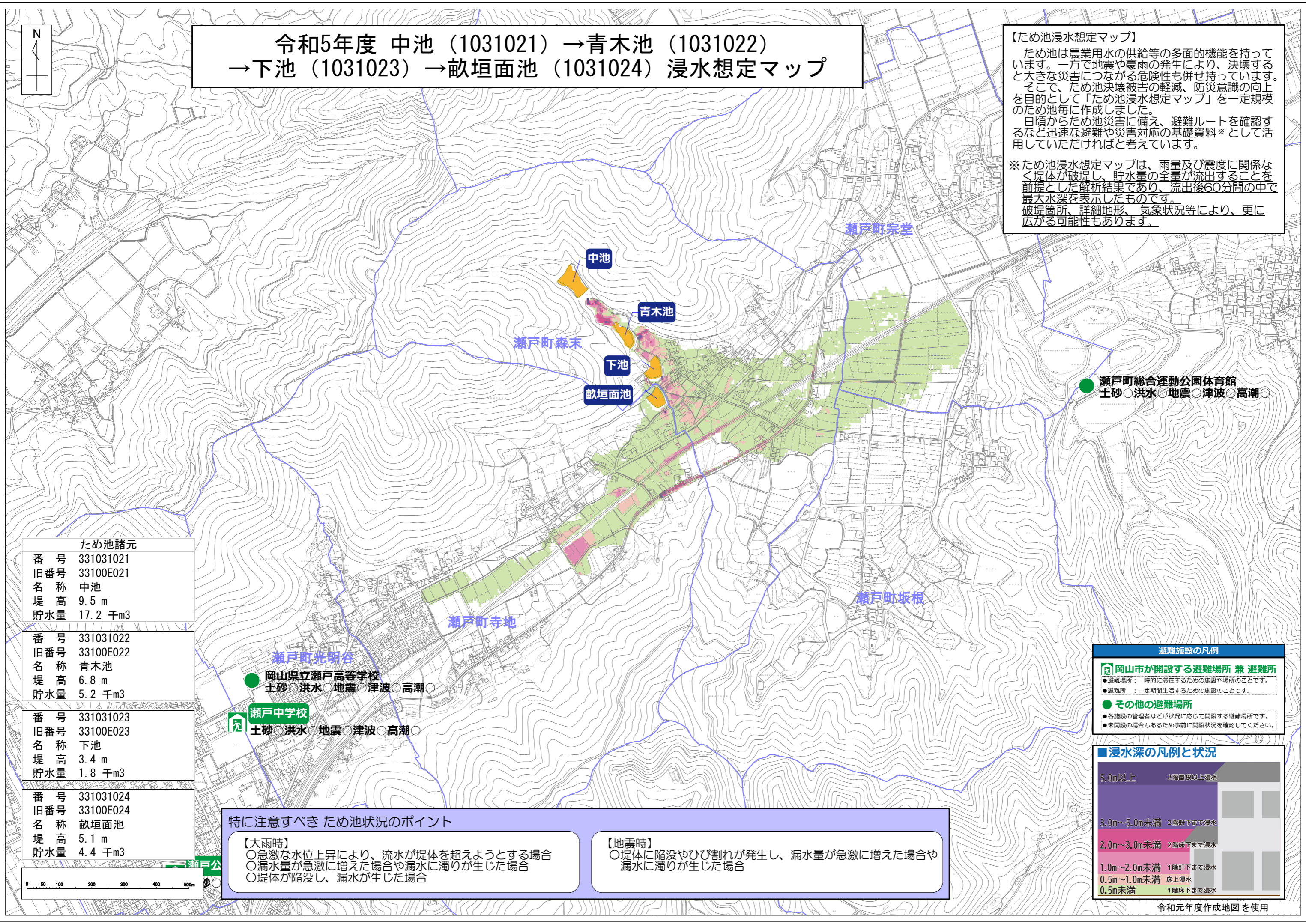


令和5年度 中池（1031021）→青木池（1031022） →下池（1031023）→畝垣面池（1031024） 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料*として活用していただければと考えています。

*ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破壊し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。



ため池諸元	
番号	331031021
旧番号	33100E021
名称	中池
堤高	9.5 m
貯水量	17.2 千m3

番号	331031022
旧番号	33100E022
名称	青木池
堤高	6.8 m
貯水量	5.2 千m3

番号	331031023
旧番号	33100E023
名称	下池
堤高	3.4 m
貯水量	1.8 千m3

番号	331031024
旧番号	33100E024
名称	畝垣面池
堤高	5.1 m
貯水量	4.4 千m3

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 ○急激な水位上昇により、流水が堤体を超えようとする場合
 ○漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 ○堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 ○堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合

避難施設の凡例	
	岡山市が開設する避難場所兼避難所
●	避難場所：一時的に滞在するための施設や場所のことです。
●	避難所：一定期間生活するための施設のことです。
	その他の避難場所
●	各施設の管理者などが状況に応じて開設する避難場所です。
●	未開設の場合もあるため事前に開設状況を確認してください。

浸水深の凡例と状況	
5.0m以上	2階屋根以上浸水
3.0m～5.0m未満	2階軒下まで浸水
2.0m～3.0m未満	2階床下まで浸水
1.0m～2.0m未満	1階軒下まで浸水
0.5m～1.0m未満	床上浸水
0.5m未満	1階床下まで浸水

